

令和8年度「豊かな心」育成プログラム

学校番号：27515
学校名：新陵東小学校

項目名	項目内容	項目内容の具体				
標目	「豊かな心」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な生活習慣を身に付け、健康で安全な生活を目指そうとする子 ● 心豊かで思いやりのある子 				
「豊かな心」に関する成果や課題	A 思いやり・挨拶・廊下歩行の指導の充実	【具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活について、2期4節の目指す子ども像をもとに振り返り、年間を通してGoogleフォームに記録する。 ・ 6年生の総合プロジェクトと連携する。 ・ 児童の廊下歩行について、教員が見守る日を設定する。 	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2期4節を振り返る場を設定したことなどで、87.3%の児童が挨拶や言葉遣いについて気を付けていたと回答していた。（学校評価アンケートより） ・ 振り返り方法をGoogleフォームにしたことで、結果をすぐに確認でき、指導に役立てることができた。 ・ 廊下歩行を見守る日に、教員が児童の様子を見守ることで、落ち着いて歩こうと意識をしている子が見られた。 	【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の学校評価アンケートの結果、挨拶や言葉遣いに関する項目が前年度より3.6%低下していた。日常の挨拶が消極的になっている傾向があり、学校全体に明るい挨拶が自然と飛び交うような活気ある活動を取り入れたい。 ・ 一人一人が「周りの人のことを考えて行動する」という他者意識をもち、落ち着いて生活できるよう、今後も廊下歩行を見守る日の継続をしていく。 		
	B 読書・睡眠・食の指導の充実	【具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭と連携し、読書・睡眠・朝ごはんに特化した取組として、グッスリーデー（毎月3の付く日）を設定する。 ・ 各クラスで、栄養教諭による食指導の学習を行う。また、ランチルーム給食を通して、学年間の交流の機会を広げる。 ・ 朝の図書館利用を割り当て、週に一度は本の貸し出しを行う。また、虹色読書委員会や図書サークル、図書館ボランティアと連携して、図書館利用を増やす取組をする。 	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「宿題は、早く寝る、本を読む、朝ごはんを食べる。」というグッスリーデーを設定することで、早く寝ようとする子や、自分自身の普段の生活について考えようとする子が増えてきた。（グッスリーアンケートより） ・ 栄養教諭による食指導を行うことで、感謝の気持ちが芽生えたり、自分自身の食事について考えたりする子が増えた。 ・ コロナ禍以降、久しぶりのランチルーム給食を実施し、仲間とともに楽しく会食する共食の様子が見られた。 ・ 図書館割当の設定をしたり、委員会や図書サークル、図書館ボランティアのイベントを行ったりすることで、子どもたちが本に触れる機会を増やすことができた。 	【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通じて実施したグッスリーデーでは、児童のグッスリーカードからは活動のマンネリ化が見られた。年度末に行ったグッスリーアンケートの結果、目標時間に就寝できない主要因として、就寝直前までのスマホの視聴（39.6%）が浮き彫りとなった。グッスリーデーで学んだことを継続して意識していけるような取組が課題。 ・ 学級閉鎖の影響により、予定していたランチルーム給食を実施できなかった学年があった。実施時期や内容を柔軟に検討する。 ・ 学校評価アンケートによると、読書を楽しんでいる児童は73.2%（前年度比1.8ポイント増）と読書離れを防いでいる。読書への関心を高めていくために、どの子も楽しめるような活動を委員会や図書サークル、図書館ボランティアと連携して進めていく。 		
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<p>廊下歩行の指導 挨拶の意識向上 → 他者意識を高める → 自分も相手も大切にする心 → 健康への意識を高める ← 読書・睡眠・食の指導</p>				
	A 思いやり、挨拶・廊下歩行の指導の充実	廊下歩行を見守る日の継続	学年挨拶運動の実施	委員会や学年と連携した自治的な活動の推進	Google form を利用した振り返りの継続	
	B 読書・睡眠・食の指導の充実	グッスリーデーの継続 「睡眠」出前授業の実施	朝読書・図書館割当の継続 図書館ボランティア・図書サークル・委員会との連携	食指導の様子をHPで配信 ランチルーム給食と学級での共食の継続		
方 検 法 証	<ul style="list-style-type: none"> ● 年度末評価、学校行事の児童や保護者、教職員のアンケート等の活用 ● 学校運営協議会・学校関係者評価等の活用 					